



|              |                                                                             |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------|
| Title        | 新年のごあいさつ                                                                    |
| Author(s)    | 北田, 章; 辻野, 守典; 福住, 弘雄 他                                                     |
| Citation     | makoto. 1986, 53, p. 2-5                                                    |
| Version Type | VoR                                                                         |
| URL          | <a href="https://doi.org/10.18910/86021">https://doi.org/10.18910/86021</a> |
| rights       |                                                                             |
| Note         |                                                                             |

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 新年のごあいさつ



大阪府衛生部長

北 田 章

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、つつがなく昭和61年の新春を迎えられましたことと、心からお喜び申し上げます。

旧年中は、本府衛生行政に多大のご尽力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

本府におきましては、今日の医療の高度化、あるいは科学技術の著しい進歩に対応して、府民の健康づくり施策を積極的に展開してまいりましたが、健康づくりに関連する昭和60年度の新たな施策の一部を紹介させていただきますと、まず、肝炎・肝硬変・肝がんの最も大きな発生原因であり、「21世紀の国民病」とさえ言われる、B型肝炎の母子感染防止事業であります。これは、妊婦に対しB型肝炎ウイルスの検査を行い、母子感染のおそれがある妊婦から生まれた乳児に対し、ワクチン等を接種し、B型肝炎からお子さんを守る事業であります。

この事業の成果は、四半世紀をかけて判明されるものであり、誰もが健康である21世紀の到来を願ううえにおいて、必要不可欠な事業であると確信致しております。

また、年末ジャンボ宝くじの収益金の一部を、がん対策強化事業に当てるという国の制度が新たに発足致しましたが、本府と致しましては、府立の病院や保健所に設置する専門医療機器等資材の購入、市町村が実施するがん知識の啓発普及やレントゲン等の機器購入に当て、がんの予防・治療の充実を一層図っていくこととしております。

これらは、ほんの一例にすぎませんが、今後とも、21世紀を展望した人生80年時代にふさわしい衛生行政を、積極的に推進してまいり所存でありますので、皆様のご理解、ご支援をよろしくお願い致します。

終わりに、貴協会のみますますのご活躍、ご発展を心からお祈り致しまして、新年のごあいさつとします。

## 年のはじめに



財団法人大阪防疫協会

理事長 辻 野 守 典

新年明けましておめでとうございます。旧年中は何かと御指導・御鞭達賜わり厚く御礼申しあげますと共に、本年もよろしく御指導賜りますよう御願い申し上げます。

さて、昨年プロ野球日本シリーズは、放任野球対管理野球とか。とにかく話題の多い日本シリーズでした。放任野球の勝利は、どれほどの経済効果をなにわの町に与えたのでしょうか。また11月6日には、バイオ85ジャパンが大阪で開かれました。異質の考えが物言う、知恵の時代が始まろうとしています。現在の「シリコン素子」の高密度化がどんなに進んでも、素子の回路線幅の縮小には限界があり「100メガビット」止まりだろうと、それを打破出来る新しい素子として「バイオ素子」に期待がかかっているとか。人間の脳と同じような働きをする? 「バイオコンピューター」が登場するのは、21世紀になるのでしょうか。

ところで、名取俊二東大教授の研究になる「ザルコトキシン」は、センテニクバエの幼虫に注射針で傷をつけると、生成されるという。39個のアミノ酸からなり、真核細胞にはほとんど影響を与えないのに、核のない原核細胞の細菌には強い殺菌作用を持ち、1ccあたり0.3マイクログラムで、ほとんどの細菌を殺してしまう。「ザルコトキシン」は(高等生物への毒性がないたんぱく質なので)食品添加物として、食中毒の防止に使うことも出来そうだとあります。

真空パックによって起った、ボツリヌス菌による「からし蓮根」食中毒。「ザルコトキシン」は、将来どんな役割を担うことになるのか大変興味を持たれます。「からし蓮根」食中毒に関する調査報告がなされていますが、それらは「サニテーション」の大切さを示唆しているように思われます。



## 新年のごあいさつ

大阪市環境保健局長

福住 弘 雄



## 謹 賀 新 年

財団法人阪大微生物病研究会

理事長 深 井 孝之助

新年あけましておめでとうございます。

昭和61年の新春を迎え、皆様方の御多幸と御繁栄を心からお祈りいたします。

平素は、本市の環境保健行政に対しまして格別な御尽力を賜り深く感謝申し上げます。

現在、大阪では、来たるべき新しい時代に向けて、大阪21世紀計画を推進し、将来を展望した新しいまちづくりを進めております。

とりわけ、大阪市におきましては、3年後にひかえております市政100周年にむけ、国際交流センターの建設や、昭和65年度開催予定の花と緑の博覧会など、大阪を名実ともに国際都市としてふさわしいまちに発展させるため、各種事業の推進に積極的に取り組んでいるところであります。

こうした事業を推進するうえで、快適な環境づくりは、都市整備の基盤となるものであり、ましてその一端を担う私ども環境保健行政は、重要かつ、基本をなす仕事と考えております。

近年、都市の急速な膨張に伴う建築構造の複雑・巨大化及び生活様式の多様化に伴い、そ族・昆虫等の種類及び被害様相が大きく変わり、市民のニーズは、これらの駆除についても快適な生活環境確保の面からより重視されるようになり、より安全性を求める傾向にあります。

こうした時代の変化に対応していくには、より広い専門知識と高度な技術が必要であります。そのため、私ども行政に携わる者の努力は勿論ですが、着実な実績をあげておられる貴協会をはじめとする関係諸団体の御協力が是非とも必要でありまして、皆様のお力添えに大きく期待しているところであります。

今後の貴協会のますますの御発展と、会員の皆様方の御活躍、御健勝をお祈り申し上げまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

戦争のさなかに学校を出て以来、人並におだやかな正月三ヶ日を過ぎたのは三分の一にも満たないと思います。しかし有難いことに、その年々を精いっぱい期待をもって迎え続けることができました。小説宮本武蔵の中で、求道中の武蔵は加茂川の水に身を淨め、河原に獨りたたずんで新しい年を迎え、「これが俺の正月だ」とつぶやきます。

電子顕微鏡を使って研究をするようになって以来、元日には必ず電子顕微鏡の前に立って、今年も一緒にがんばろうぜ、と挨拶するのが習慣になりました。これが私の正月でした。ある新年のこと、顕微鏡室に入りますと顕微鏡の前に葉付の小さな密柑が、供えるように置いてありました。誰か先客があったのです。生命のない電子顕微鏡に、同僚としての意識と友情を感じた先客が。

新しい年を迎えて、今年も私達の仕事はますます多忙になりますでしょう。この数年来続けられてきたB型肝炎の新しいワクチンの研究にも目鼻がつかしました。子供達のための新しい型の生ワクチンの接種試験も始まっています。こうした仕事の中に、あの小さな密柑に示されていた人間らしさを忘れぬことを常に心がけて行きたいと思います。

一方、世界保健機構(WHO)は、1990年までに世界中の子供達の80%に、はしか、ポリオ、百日咳、ジフテリア、破傷風、BCGの六種のワクチンを与えようと免疫拡大計画を展開しています。経済大国の義務としても、又人道的にも、私達はこの計画に無関心ではあり得ません。

この新しい年が、すべての人類のためのより豊かな年になります様にと私達の財団全員は力をあわせて進む決心で居ります。しっかりと自らの足もとをみつめながら、しかも広く世界に眼を開きながら。

この年が皆様にとって素晴らしい年でありますことをお祈り致すとともに、今年も倍日の御鞭達、御叱正を戴きますよう、お願い申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。



## 新年にあたって

堺市衛生部長

小谷 義弘

あけましておめでとうございます。旧年中は、本市保健衛生行政に多大のご支援ご協力を賜わり、厚くお礼申し上げます。

私は、昨年四月衛生部長に就任いたしました。市民の健康増進、各種疾病予防、快適環境の確保等々業務の巾の広さ、奥の深さを十ヶ月経た今日再認識するとともに、職責の重さを痛感している次第です。

近年、私たちの生活環境は都市化の進展、科学技術の進歩により著しい変貌をとげ、保健衛生の需要も、疾病構造の変化や高齢化社会への対応等、年々複雑多岐にわたっております。

本市では、総合基本計画の中で、二十一世紀に備えて調和と風格のある都市をめざし「市民の生涯を通じる健康づくりの推進」をテーマに、地域保健サービス、食品衛生、環境衛生の向上等各分野において、市民のニーズに対応できる諸施策を積極的に推進しているところですが、これら施策を円滑かつ効果的に行うには、市民をはじめ関係の皆様の絶大なご協力なしにその目的達成はできないのでありまして、特に衛生害虫の駆除、伝染病予防、簡易専用水道の指定検査等巾広い業務を通じて、公衆衛生発展向上に多大な成果を収め、実績を持つ貴協会に期待するところ大なるものがあります。

今年は、昨年水道法の一部が改正され、本年十一月より簡易専用水道施設が、大巾に増加することが予想され、指定検査機関であります貴協会とは、より密接な連携をはかり、施設の設置者及び管理者への衛生管理意識の向上等、啓発活動を推進していかねばなりません。どうか一層のお力添をお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方のご健勝と貴協会の益々のご発展を祈念いたしまして、新年のごあいさついたします。



## 新春閑話

阪急電鉄株式会社

車両部次長

操 田 浩

新年あけましておめでとうございます。

平素、大阪防疫協会の皆さまには、電車や駅の清潔衛生につきまして、大変お世話になり、厚くお礼申し上げます。

また、阪急電車の御愛用につき、心からお礼申し上げます。

昨年は、阪神タイガースがプロ野球で日本一となり、大阪人として御同慶の至りでありますし、わが宝塚ファミリーランドには、珍獣ホワイト・タイガーが入園いたし、御好評を頂いている所へ、今年はトラ年であり、トラ・フィーバもここに極まれりという所。私事ですが、小生もトラの当り年ということで、日頃のおとなしさを少しは反省し、「48歳の抵抗」を心掛け、悔いなく青年⇔壮年への切換を図る所存であります。

閑話の本論に入りまして。皆さまの（お持ちでしたら）デジタル時計を御覧下さい。

デジタル時計は一月一日午前零時には何と表示するでしょう。月日も入った表示では、「12-31-P M11-59-59」の次の表示となり、「1-1-AM 12-00-00」となるのです。翻訳すれば午後11時の次は12時なのであります。小生の感覚では受け入れ難いことであります。更に午前12時の後は午前1時と来るわけでありまして。受け入れられません、

本年は当り年でもあることですし、お年玉をもらった（小遣いの中からお年玉を配分して、残金が出たならば）、ぜひアナログ時計を入手したいものであります。ついでに、現在のデジタル的思想についても疑ってみたいものです。デジタル的思想とは、米を食い水を呑めば、飯を食ったのと同じであるというような思想であります。

閑話終了。

本年、皆さま方が健康に繁栄されますようお祈り申し上げます。

## 師匠



南海電気鉄道株式会社

鉄道事業本部長

川久保 晋

謹んで新春のお喜びを申し上げます。

さて、昭和61年は昨年大きく話題を提供した国鉄の分割、民営化が、いよいよ関係法規の改正、新会社発足の準備など正念場を迎えることとなる。

これまで私鉄は色んな面で国鉄を師匠と仰いできた。民間の小資本ではなしえない巨大なものへの挑戦、また事故原因などミクロの分析等国鉄の長所は数えればキリがない。当社など昭和の初から国鉄線へ乗入れを行っていた関係もあって、日常業務でのつながりがとくに深く、規則類でも習慣においても国鉄の影響を大きくうけている。

国鉄を現在のように累積債務22兆円と天文学的なところまで追い込んだことについては、原因として色々なわれているが国民にも一端的責任はあろう。選良が押しつけた新駅もあろうし地域こぞっての請願新線もある。要求はマキシマムではなかったか。

とまれ今回の分割で六つの会社は夫々スタートを切るわけである。国の規制がとれ、営業展開が広角度になり、限りなく民営に近づいたとしても、旅客密度の低い線区を多くかかえているところはなお問題が残るのではないか。運賃改定-旅客減の悪循環の中にあって、いかにしてトータルとして辻褄を合わせるか。地方交通線の取扱い如何によってはその収支の維持がおかしくなる。

需要と供給のバランスという経済原則が当てはまらないのが過疎地の公共交通の姿である。働き手は毎日マイカー、鉄道利用は老人、子供のみ、また雨の時だけバイクをバスに乗りかえるというのでは、交通手段を「事業として」提供する方はどうしたらよいか。

交通手段が多様化し生活が潤沢になってきた。あらゆる手段を身近におき目的別に使い分けたいと願うのは当然であるが、民営化に踏み込んだこの辺で一度シビルミニマムをどの辺に設定するか、真剣に考える必要があるのではなからうか。

いづれにしても、大國鉄が難問を解決して一日も早く新会社をレールに乗せこんごも我々の師匠として在り続けてほしいものである。

## 「ニュース」雑感



関西テレビ放送株式会社

施設管理部長

宮澤 孝四郎

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

去年は、放送界におきましても、何かと話題の多い年でした。

21年ぶりに優勝した阪神タイガースによるあのファイバーぶりは、関西の地盤沈下が反転浮上したかに思われる程で、当社が運良く10月16日に放送しました「阪神-ヤクルト戦」の独占中継は、関西地区におけるスポーツ番組では史上最高の57%という驚異的な視聴率を記録いたしました。

また、8月の日航ジャンボ機墜落事故取材中、困難な地形状態の中で、入社4ヶ月目のフジテレビ報道部員がスクープした生存者救出の生中継放送は、暗いニュースの中で一筋の光を与えてくれました。

一方、豊田商事事件のようなテレビ報道の難しさを見ますと、いかに早く真実を視聴者に伝えるかだけでなく、映像による情報提供のあり方をもっと深く考えていかねばならないと思われます。

本年は、きびしい現実を歩もうとするニューメディアの状況の中で、文字多重放送が実用化されるようになり、当社も準備作業に取り組んでおります。

今後も、より一層視聴者に愛される番組を放送するよう、努力を重ねる所存でございますので、何とぞ皆様方のご理解とご声援をよろしくお願い申し上げます。

おわりに、常日頃お世話になっております貴協会のご発展をお祈りして、新年のご挨拶といたします。

